

平成21年8月から約1ヶ月間、救急救命士の処置拡大に伴う気管挿管実習を徳島大学病院で行わせていただきました。実習当初は慣れない環境とはじめてのことばかりで1症例1症例をこなしていくことで精一杯でした。しかし麻酔科の先生方の指導のおかげで徐々に慣れていき、手術室での実習、見学、そして患者様に対する実習の同意や実習後のお礼と1日1日があっという間に過ぎ、30症例を終えることが出来ました。この実習を通して大切に思ったことは知識や技術はもちろんのこと医療従事者として患者様の立場になって考え、理解し、向き合うということです。そして、これらのことを忘れず今後、気管挿管を一つの有効な手段としていきたいと思えます。



今回の実習にご協力して下さった患者様とその御家族、実習を受け入れていただいた徳島大学病院麻酔科の先生方、看護師の方、そして事務の方に感謝し、救急活動に従事していきます。

板野東部消防組合  
三浦 拓之